

水牛ボタンの特長と取り扱い上の注意

【特長】

近年のエコロジー精神の高揚と水牛独特の高級感ある風合いにより極めて人気の高い素材の1つとして世界中で使われています。

原産地は、インド、アフリカ、南米及び東南アジアですが、日本ではインドを中心とした東南アジア産が多く使われております。

ボタンに使われる原料は柄の特徴や製法によって大きく2つに分類されます。

タツ・・・虎柄のような筋柄を持ち、角を輪切りにし、
サイズに応じて中側をくりぬいて作られます。

板もの・・・刷毛目のような筋柄を特徴に持ち、角の空洞部分を
切り開き、板状にした後にサイズに応じてくりぬいて作られます。

水牛ボタンは手作業を多く必要とする為、プラスチック素材や金属素材のような大量生産は出来ませんが、少量での別注型や彫刻・刻印加工が可能です。加工期間等でご不明な点がございましたら営業担当までお問い合わせ下さい。

【取り扱い上の注意】

水牛ボタンは素材の構造上、個体差があり、同一ロットの中でも色や柄、ツヤの加減が異なります。本物特有の持ち味とご理解下さい。

生産工程の上で微妙に形状が異なり、板ものに関しましてはゆがみが生じる場合があります。

水牛ボタンは熱や水に弱い素材です。ホットプレスやタンブラー乾燥、水洗い等をされますと油脂分が失われ、ツヤ落ちや割れ、白濁、変形等の原因となりますので、行わないで下さい。

クリーニング等の際は製品から取り外すか水牛を保護して石油系ドライにて行って下さい。

縫製後に製品加工をされる場合、ボタンは必ず後から付けて下さい。

その他、不明な点がございましたら各担当者までお問い合わせ下さい。